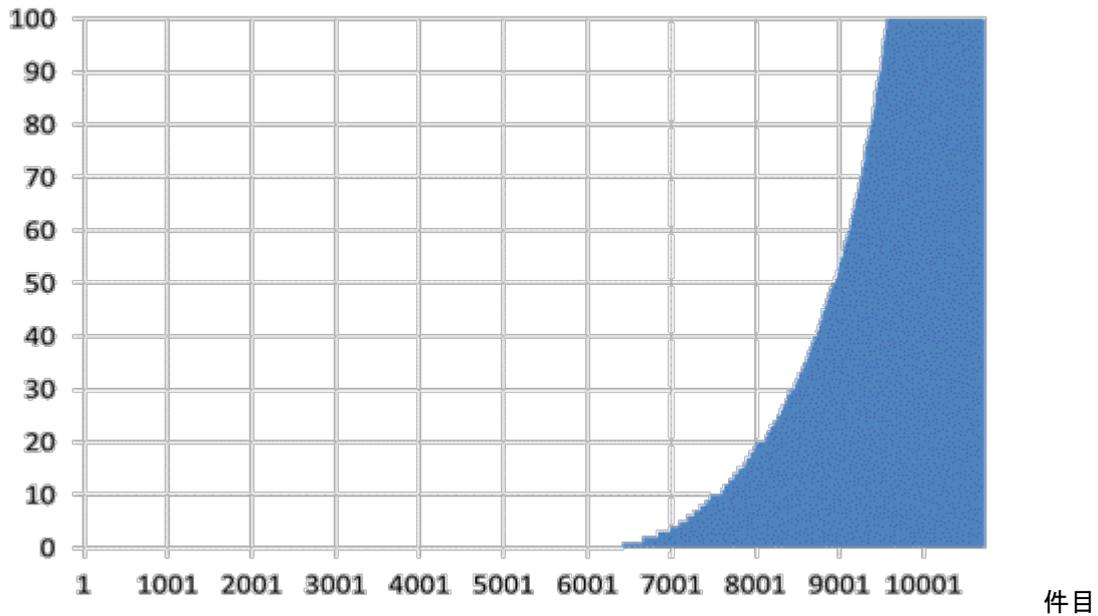


スプリンクラー設備の効果について

1. 火災統計から見た効果について（平成 22 年、住宅を除く）

スプリンクラー非設置建物の焼損床面積の状況（10,734 件）

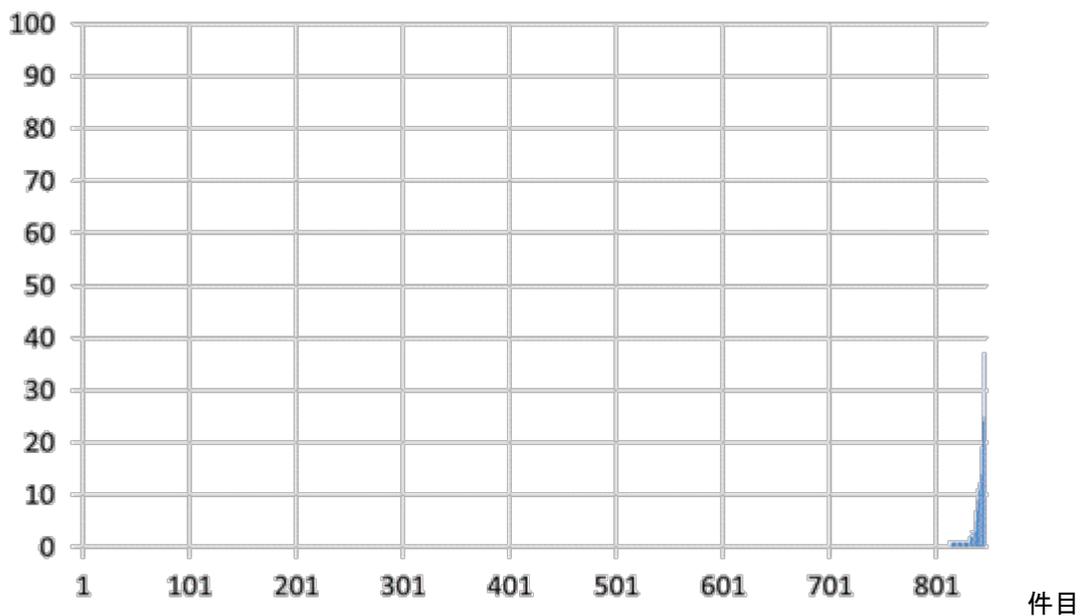
焼損床面積 m^2



10,734 件について、焼損床面積の小さいものから大きいものの順に
その焼損床面積をプロットしたもの

スプリンクラー設置建物の焼損床面積の状況（義務設置対象、846 件）

焼損床面積 m^2



846 件について、焼損床面積の小さいものから大きいものの順に
その焼損床面積をプロットしたもの

2. スプリンクラー設備が設置された建物での死亡火災発生件数

スプリンクラーが法令に基づき設置された建物では、死者の発生率が約6分の1程度に抑えられている。

	スプリンクラー設置義務建物での火災件数(放火除く)	死者数	100件あたりの死者数
平成14年	400	1	0.25
平成15年	423	2	0.47
平成16年	430	2	0.47
平成17年	514	1	0.19
平成18年	491	0	0
平成19年	586	2	0.34
平成20年	572	7	1.22
平成21年	596	1	0.17
平成22年	669	2	0.30
平成23年	688	2	0.29
合計	5,369	20	<u>0.37</u>

(「火災報告」により作成)

(参考) 全建物火災での死者発生状況

	出火件数	死者数	100件あたりの死者数
建物火災	309,733	14,556	4.70
事業所、共同住宅等(※)	178,610	3,917	<u>2.19</u>

平成14年～平成23年「消防白書」により作成

※ 建物火災の内、一般住宅と併用住宅を除いたもの